

松山政司 内閣府特命担当大臣(科学技術政策、宇宙政策等担当)が、東方経済フォーラム
出席に併せ、ウラジオストク市の日露・国際共同研究拠点(極東連邦大学内)を視察
http://www.cao.go.jp/minister/1708_m_matsuyama/photo/2017-010.html

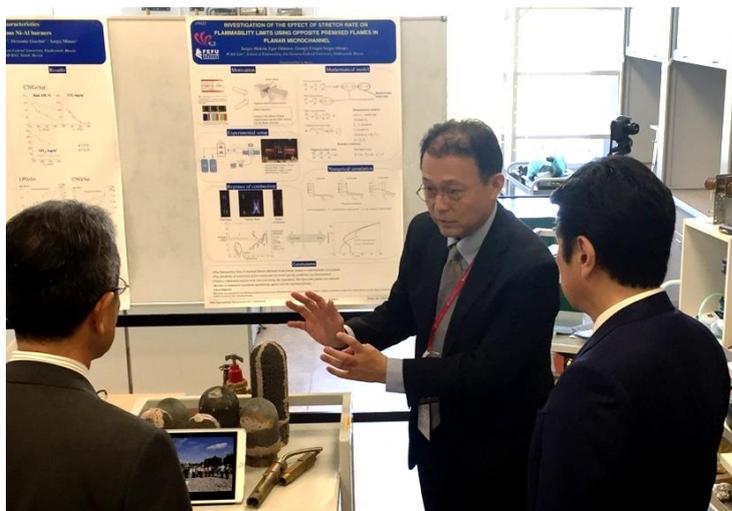
東北大学・流体科学研究所 教授 丸田 薫

平成 29 年 9 月 7 日、松山政司 内閣府特命担当大臣 (科学技術政策や宇宙政策等を担当) が、東方経済フォーラム (会場・露ウラジオストク市・極東連邦大学) への出席に併せ、同大学に拠点を置く、東北大学との日露・国際共同研究拠点、International Combustion and Energy Laboratory の視察を行った。

同国際共同研究拠点のリーダーである東北大学・丸田 薫 教授が、共同研究の成果であるマイクロ燃焼器、マイクロリアクタ、微小重力燃焼実験等について紹介した。

なお同拠点は、露政府による初の国際公募型研究拠点形成プログラム、露メガグラント・プロジェクト (2014-2016) のサポートにより形成された研究ラボであり、露側代表は Sergey S. Minaev 教授 (極東連邦大学)。2014 年 11 月には、露・プーチン大統領も同ラボの視察を行っている。

東方経済フォーラムでは、本年も日露首脳会談や企業トップによる会議等が行われ、ロシア極東地域を起点とする、東アジア地域諸国の国際連携を推進している。松山 大臣一行は Anisimov 極東連邦大学長らとの会談等も行っている。



左上: 研究概要説明 (丸田教授)、右上: 右から Panova 副学長、Anisimov 学長、松山大臣、丸田教授、内閣府 山脇 政策統括官、右中: 右端 Minaev 教授、左から 2 番目 ICE ラボ Shtym 教授、右下 2 点: 大臣より贈呈された福岡県八女の羽子板と記念撮影。

問い合わせ先:

流体科学研究所
附属未到エネルギー研究センター
エネルギー動態研究分野
教授 丸田 薫
Tel: 022-217-5319
E-mail: maruta@ifs.tohoku.ac.jp

